

危険物施設の多様な使用形態に対応した 技術基準のあり方検討会の開催

危険物保安室

1 はじめに

太陽光発電は、エネルギー基本計画（平成26年4月11日閣議決定）において、「温室効果ガスを排出せず、国内で生産できることから、エネルギー安全保障にも寄与できる有望かつ多様で、重要な国産エネルギー源」である再生可能エネルギーとして位置づけられています。また、平成24年から固定価格買取制度がスタートし、日本でも太陽光発電の加速的な市場拡大が始まり、全国でも日当たりの良い屋根や空きスペースなどが、太陽電池モジュールの設置場所候補として検討されています。

このような状況の中で、危険物施設における太陽光発電設備の設置要望が増えていることを踏まえ、危険物施設に太陽光発電設備を設置するという新たな使用形態に伴って想定される火災危険性を抽出してその安全対策を考慮した技術基準のあり方について検討するための検討会を発足し、第1回の検討会を6月24日（火）に開催しました。

2 検討項目

検討項目については次のとおりです。

- (1) 太陽光発電設備が設置された危険物施設の実態調査
- (2) 危険物施設に太陽光発電設備を設置する場合の火災危険性に関する事項
- (3) 危険物施設に太陽光発電設備を設置する場合の安全対策のあり方に関する事項

3 第1回検討会の内容

第1回検討会では、検討の趣旨及び進め方、危険物施設における太陽光発電設備の設置状況に関する実態調査・分析(案)、危険物施設の放爆に関するシミュレーション(案)、スケジュール等について説明が行われた後、今後の検討の方向性等について検討が行われました。

4 今後のスケジュール

- ・第2回 平成26年9月（予定）
- ・第3回 平成26年12月（予定）
- ・第4回 平成27年2月（予定）

委員名簿（敬称略）

【座長】

大谷 英雄 横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授

【委員】（五十音順）

青戸 久明	日本危険物倉庫協会 理事
井上 貴光	一般財団法人電気安全環境研究所 研究事業センター太陽電池測定・認証グループ グループマネージャー
喜々津仁密	独立行政法人建築研究所 構造研究グループ 主任研究員
熊本 正俊	一般社団法人日本化学工業協会 環境安全部部长
今野 和義	全国石油商業組合連合会
清水 秀樹	石油連盟 給油所技術専門委員会委員長
杉本 完蔵	一般社団法人太陽光発電協会 幹事
高橋 俊勝	川崎市消防局 予防部危険物課長
田中 由人	神戸市消防局 予防部査察課長
塚目 孝裕	消防庁消防大学校消防研究センター 技術研究部特殊災害研究室長
西川 省吾	日本大学理工学部電気工学科 教授
山口 克己	東京消防庁 予防部危険物課長
吉田 一史*	石油化学工業協会 保安・衛生委員会 消防防災専門委員長 ※7月から鶴岡 健（同委員長）に交代

事務局 消防庁危険物保安室



第1回検討会の様子

問合わせ先

消防庁危険物保安室 危険物施設係
中嶋・各務
TEL:03-5253-7524